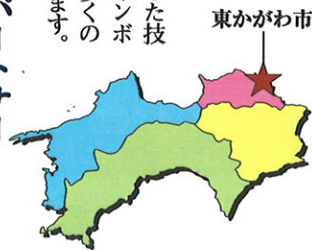


100年の歴史を誇る「東かがわ」の「伝統技術」が優れた生活雑貨を生み出す!

柔らかく薄い革を製品化する技術はトップクラス

手袋の製造シェア90%を誇る東かがわ市。その歴史は古く100年以上に及びます。明治19年、東かがわ市(旧白鳥村)、千光寺の副任職が近所の娘と恋に堕ちて大阪に駆け落ち、そこでメリアス製の手袋と出会ったのが始まりといわれています。その後、明治25年になって、副任職の従兄弟が郷里の東かがわ市に手袋製造所を開設しました。明治33年には、ドイツ製手袋をヒントに飾縫ミシンを発明。大正8年、上海を皮切りにロシア・アメリカと海外向け輸出を開始します。以来今日まで、ミシンや製造技術が国際特許を取得するなど、東かがわの革加工の技術は、市の基幹産業へと発展してきました。

この世界トップレベルの精緻で卓越した技術は、手袋以外の生活雑貨、椅子・ワインボトルケースなどの製造に活用され、数多くの今までにない優れた商品を生み出しています。



東かがわ市

「四国テクノブリッジ」の企業パートナー
「ものづくり研究所」は斬新な商品を提供します

経済産業省が推進する産業クラスター計画のひとつ「四国テクノブリッジ」では、「首都圏協力パートナー企業制度」を創設し、販路開拓と事業化を支援。「日本のものづくりの技と文化の発展のため、各地の経済産業局、産業振興支援センターなどと協力

予告 ? まもなく誕生します



▶綿水加工した革でしなやかにボトルを包む。上質さと新感覚を表現。



▶折りためる収納ボックス。長く使いこみ、革の風合いを楽しみたい。

し、マーケティングや商品開発のお手伝いをする」というコンセプトと同じくする、ものづくり研究所は、パートナー企業として参加し、コンペによって選ばれた商品案をデザイナーと東かがわの革加工技術のメーカーと共に新たな商品開発を進めています。「伝統技術の東かがわ」と「もの研」のコラボレーションで作りに上げた商品は、2007年2月28日の「道具の學校」カタログでご紹介する予定です。ものづくりの技と感性を活かした斬新な商品。ぜひ、ご期待ください。



▶たぐさんの商品提案を受け、選定中。

東かがわ市商工会では、「JAPANブランド育成支援事業」として、地域ブランド構築のための商品開発企画、および、優れたデザインの商品を集め、厳しい審査を行っています。そして、審査を通過したものに対して、販売のための全面バックアップを行っています。



▲デザイナーへのマーケティング情報説明会。

▶手袋の形をした子供用のイス。まるで手の中に包まれているような温かいイメージ。



ものづくり研究所は全国の技術発展のため、商品開発のお手伝いをしています。

STEILAR C.K.M株式会社 <http://www.monoken.com>